

障害のある人の学び・暮らしの力を支える 実践的活動

広島大学大学院人間社会科学研究科附属特別支援教育実践センター

◎概要:教職員と学生がチームを組み、地域と連携を図りながら、①「アートは生活と社会を変える」、②「視覚障害者のためのiPhone活用研修会」、③「吃音のある学生のための就活講座」、④「特別支援教育サポーター活動」等の活動を実施。

◎活動内容:①行政・企業・障害者と教職員・学生が連携し、障害者アートによる街づくりや商品開発、②市販や自作アプリを弱視児者に紹介し、活用する機会を設定、③吃音のある求職者に対し、流暢性を促す発話練習、効果的プレゼンテーション方法等を指導、④学生が公立小中学校を訪問し、教員の補助として、多様なニーズのある児童生徒を指導。

◎工夫点:学内外において強固な連携を図り、組織的な実施体制を整え、地域貢献の一環として活動を実施。活動に参加した先輩から後輩への指導、障害当事者同士で交流を持てる機会を設けるなど、活動を広げ、深めるための工夫を実施。

◎課題:無償ボランティアとして活動に参加する学生が減っているため、活動への参加を授業の一環にする、TAとして参加し、後輩の指導補助に当たってもらうなどの工夫が必要。



「アートは生活と社会を変える」展示会の様子



「視覚障害者のためのiPhone活用研修会」の様子



「吃音のある学生のための就活講座」の様子